

## 震災から2年目以降の主なできごと

2012年  
(平成24年)

- 3月18日 震災の影響で閉館していた奥松島縄文村歴史資料館が再オープン。開館20周年を迎える。  
東京・銀座プロッサムで市内の被災者などが中心となり演じる、感謝のミュージカル「とびだす100通りのありがとう」を上演。
- 3月27日 震災の影響で不通となっていたJR仙石線矢本-陸前小野駅間が運転を再開。
- 3月29日 美里町と災害時における相互応援協定を締結。
- 4月9日 東松島市学校給食センター(PFI事業)が完成し稼働
- 4月23日 JR仙石線陸前大塚-陸前小野駅間の早期復旧に関する覚書を締結。
- 4月24日 松島町と災害時における相互応援協定を締結。
- 4月26日 大崎市と災害時における相互応援協定を締結。
- 5月14日 埼玉県富士見市と災害時における相互応援協定を締結。
- 6月20日 小野小学校でサッカー日本代表の岡崎慎司選手と酒井高德選手によるサッカー教室が開催。
- 7月9日 宮戸小学校の太陽光発電装置が完成。
- 7月17日 東松島市建設業協会が災害廃棄物の木材を利用して育てたカプトムシを希望する市内小・中学校、幼稚園・保育所の子どもたちに寄贈。
- 8月16日 大曲浜地区で震災慰霊碑が完成。  
東松島市鳴瀬流灯花火大会が開催(2年ぶりの開催)。
- 8月25日 鷹来の森運動公園で野球場リニューアル記念事業少年野球教室が開催。
- 8月26日 東松島夏まつり2012が開催(2年ぶりの開催)。
- 9月9日 鳴瀬地区小・中学校の統合校開設に向けて、小野小学校と浜市小学校の統合校名が「鳴瀬桜華小学校」に、鳴瀬第一中学校と鳴瀬第二中学校の統合校名を「鳴瀬未来中学校」とする条例案が市議会にて可決。



環境未来都市構想の実現へ向け産・学・官・民の連携を橋渡しする一般社団法人東松島みらいとし機構(愛称:HOPE、理事長 大滝精一東北大学大学院経済学研究科長、設立時社員(市・市商工会・市社会福祉協議会)設立総会が開催。相談役には菅直人元首相など、特別顧問にはC.W.ニコルさん(アフアの森財団理事長、作家)、伊勢谷友介さん(リバースプロジェクト代表、俳優)などが就任(2012年10月24日)



集団移転先の造成などが柱となる東松島市復興まちづくり整備事業の着手式を野蒜市民センターで行う(2012年10月25日)

- 11月8日 ドイツ・シュトゥットガルト室内管弦楽団東松島公演が開催。
- 12月2日 第45回やもとクロスカントリーが開催(2年ぶりの開催)。
- 12月3日 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとエボニック・テクザ・ジャパン(株)の復興支援により、新しい矢本東保育所が矢本字大溜地内(市図書館東隣)に完成。
- 2013年  
(平成25年)
- 1月3日 第89回箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)に出場した、青山学院大学2年(当時)の高橋宗司選手(野蒜出身)が8区(復路)区間賞を獲得。
- 1月8日 第65回奉獻乾海苔品評会で手代木浩二さん(県漁協鳴瀬支所所属・平岡)が優賞。震災からの復興を目指す東松島の「のり」が皇室御献上の荣誉に輝く。
- 2月15日 小松・大曲・赤井地区の三陸自動車道の道路敷法面6カ所に、津波避難階段が完成。
- 3月11日 震災発生から2年の節目に、平成25年東日本大震災東松島市慰霊祭(場所:東松島市民体育館)を執り行う。  
2~3月までに「鳴瀬桜華小学校」として統合される小野小学校と浜市小学校、「鳴瀬未来中学校」として統合される鳴瀬第一中学校と鳴瀬第二中学校にて閉校式が行われる。
- 3月30日 震災の影響で九州に一時避難していたブルーインパルス(航空自衛隊アクロバット曲技飛行チーム)が航空自衛隊松島基地に帰還
- 4月1日 「鳴瀬桜華小学校」「鳴瀬未来中学校」が開校。鳴瀬桜華小学校の校歌は歌手の中村雅俊さんが、鳴瀬未来中学校の校歌は歌手の加藤登紀子さんが制作。
- 5月12日 安倍晋三内閣総理大臣が東松島市内の復興状況を確認するため、航空自衛隊松島基地と野蒜北部丘陵地区の集団移転先の造成地を視察。



秘密基地のようなツリーハウスは、再生の象徴である竜をイメージして「ツリドラゴン」として一般財団法人C.W.ニコル・アフアの森財団が整備しました(2013年6月1日)



宮戸・月浜海水浴場が3年ぶりに日曜限定でオープン(2013年7~8月)

- 8月23日 奥松島「絆」ソーラーパークが完成。
- 10月21日 震災により休止していた嵯峨渓遊覧船が「奥松島遊覧船」として再開。